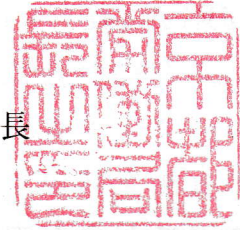


京労発基 0418 第 1 号  
平成 28 年 4 月 18 日

建設業労働災害防止協会  
京都府支部長 殿

京都労働局長



### 建材中の石綿含有率の分析方法について

平素より、労働基準行政の推進に御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、建材中の石綿含有率の分析方法については、平成 18 年 8 月 21 日付け基発第 0821003 号（平成 26 年 3 月 31 日付け基発 0331 第 30 号により一部改正。以下「分析方法通達」という。）において示されているところですが、今般、標記に関連する日本工業規格として、平成 28 年 3 月 22 日付けで新たに JIS A 1481-4（建材製品中のアスベスト含有率測定方法－第 4 部：質量法及び顕微鏡法によるアスベストの定量分析方法）が制定されたところです。

つきましては、石綿障害予防規則（平成 17 年厚生労働省令第 21 号）第 3 条第 2 項の規定による石綿等の使用の有無の分析については、下記の方法となりますので、傘下会員に対する周知につき格別の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

なお、当該改正は平成 28 年 3 月 22 日から適用することとなります。

### 記

分析方法通達本文中「JIS A 1481-1（建材製品中のアスベスト含有率測定方法－第 1 部：市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法）、JIS A 1481-2（建材製品中のアスベスト含有率測定方法－第 2 部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法）及び JIS A 1481-3（建材製品中のアスベスト含有率測定方法－第 3 部：アスベスト含

有率の X 線回折定量分析方法) が平成 26 年 3 月 28 日に制定され」の後に「、JIS A 1481-4 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法－第 4 部：質量法及び顕微鏡法によるアスベストの定量分析方法) が平成 28 年 3 月 22 日に制定され」を挿入し、記の内容を次のように改める。

1 JIS A 1481-1 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法－第 1 部：市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法)、JIS A 1481-2 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法－第 2 部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法)、JIS A 1481-3 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法－第 3 部：アスベスト含有率の X 線回折定量分析方法) 又は JIS A 1481-4 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法－第 4 部：質量法及び顕微鏡法によるアスベストの定量分析方法)

2 上記 1 と同等以上の精度を有する分析方法として以下に掲げる方法

(1) 廃止前の 188 号通達の別紙の第 3 の 3 の「位相差顕微鏡を使用した分散染色法による分散色の確認」による定性分析の方法 (以下「分散染色法」という。)

ただし、分散染色法は、JIS A 1481-2 の 8.2 の「位相差・分散顕微鏡による分散染色法」による定性分析方法に相当するものであり、これにより定量分析を行うことはできない。

よって、分散染色法により分析を行った結果、石綿の種類に応じた分散色が確認されなかった場合に限り、石綿が 0.1% を超えて含有していないものとして取り扱うことができるものであること。

(2) 平成 26 年 3 月 31 日付けで廃止された JIS A 1481 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による分析方法

(3) その他別途示す分析方法